

2022年

天理参考館 7・8月のイベント



公式ツイッター

— 小特集展示 —		2F	9:30~16:30
鉄道開業 150 年！ 周年記念キップでたどる国鉄・JR			
7/4 (月)	マンデートーク★14 古墳時代の馬具 古墳時代には馬具は権力者の宝物であり、古墳の主要な副葬品でした。このたび保存・修復処理を終えて、常設展示に復帰した重要美術品の馬具について解説します。	3F 藤原郁代 学芸員	13:15~13:35
7/11 (月)	マンデートーク★15 日系ブラジル人の歴史 1908年(明治40)に日本からブラジルへの集団移住が始まり、既に100年余りが過ぎました。現在、200万人とも推計される日系ブラジル人のルーツを辿り、その歩みを紹介します。	2F 梅谷昭範 学芸員	13:15~13:35
7/13 (水) ~	第90回企画展 館蔵資料から見る 神仙思想と道教	3F 企画展示室	9:30~16:30
7/25 (月)	マンデートーク★16 日本の鉄道開業~開業150年その1 今年の10月14日は鉄道開業150年です。錦絵や乗車券などから、開業に至る経緯や、当時の様子について紹介いたします。	2F 乾 誠二 学芸員	13:15~13:35
7/26 ~30	第90回企画展 特別展示 「山伏の装束」と「法螺貝」	3F ロビー	10:00~12:00 13:00~15:00
7/16 (土)	第90回企画展 記念講演会 講師：青木智史氏(奈良教育大学准教授) 中国考古資料に表現された神仙世界 【定員に達しましたので申込みを締め切りました】 神仙思想は、不老長生の存在とされる仙人の存在を信じ、自らも超越者たる仙人になることを希求する古代中国の特色ともいえる思想です。不老長生の仙薬、神秘的な神仙という存在、仙人の住まう樂園など、魅力的で多様な思想が生み出されました。道教の源流の一つとしても欠かすことのできない要素です。天理参考館が所蔵する中国考古美術資料を主に取り上げながら、そこに表現された不思議で興味深い世界を見ていきたいと思います。		【各共通】 ・時間 13:30~14:30 ・会場 2F ホール ・定員 30名
8/8 (月)	第90回企画展 トーク・サンコーカン 講師：中尾徳仁 学芸員 道教の儀礼用具と神像—当館所蔵資料を中心に— 【定員に達しましたので申込みを締め切りました】 道教では、不老長生を得るための手段のひとつとして儀礼を行います。儀礼には、道教の戒律を受けた宗教者である道士によって行われるものと、法師など道士以外の人々が行うものがあります。 また、道教は数多くの思想から影響を受けて成立した多神教であることから、さまざまな神が祀られます。道士や法師などが儀礼の際に使うものと、道教や民間信仰の神像について、当館所蔵資料を中心に紹介します。		申込開始 7月1日(金) 受付時間 平日 9:30~15:00 メール・FAX・直接いずれかで san-info@sta.tenri-u.ac.jp FAX 0743-63-7721 申込記載内容 「〇月〇日講演会」 「氏名・ふりがな」 「住所」「電話番号」 一組3人まで。申込者全員の 記載をして下さい。FAXの方は FAX番号も記入して下さい。
8/28 (日)	第90回企画展 記念講演会 講師：山田明広氏(奈良学園大学准教授) 道教の不可思議な世界—仙人から疫病払いの儀式まで— 【定員に達しましたので申込みを締め切りました】 道教には、仙人や仙薬、瞑想法、呪法、おふだなど我々の常識からすれば不可思議としか言いようのない様々な要素が見られます。 本講演では、道教に見られるこういった要素のうち、自らの身体を変容させることで仙人になろうとする煉丹術(れんたんじゅつ)、および罪を減し功德(くどく)を積むことで仙人になろうとする齋醮儀礼(さいしょうぎれい)、とりわけ現在の疫病払いの儀式について見ていくことで、道士が仙人になる方法について概観します。		
7/26~ 8/27*	おやさと謎解きウォーク in 参考館 怪盗ビビットからの挑戦状 参加受付：参考館駐車場内「ほんわか村探偵事務所」 / 参加無料 ※7/26(火)のみ13時開始。期間中8/8(月)と下記休館日は休館。	9:30~ 15:30	主催 天理教少年会本部
休館	7/5(火)、7/12(火)、7/19(火)、8/9(火)、8/13(土)、8/14(日)、8/15(月)、8/16(火)、8/17(水)、8/23(火)、8/30(火)		